

営繕のあゆみ 2004



農業研究センター（本館）



沖縄県 土木建築部 施設建築課

目次

発刊にあたって 1

<業務概要>

1. 業務の目的 5
2. 業務の概要 5
3. 業務量の推定（平成10年度～16年度） 6
4. 平成16年度の業務（契約ペーシ） 8
5. 平成16年度補助事業設計審査状況 8

<完成建物>

- 特集施設 1 普天間高校増改築工事（屋内運動場・水泳プール及び管理棟） 13
- 特集施設 2 県営志真志団地建替工事（第1期） 17

主要建物

- 総務部 21
- 平和の礎追加刻銘工事 21

- 文化環境部 21

- 宮古不発弾保管庫新築工
- 沖縄海岸国定公園阿波連園地トイ新築工事

- 農林水産部 23

- 農業研究センター新築工事

- 商工労働部 28

- 沖縄特別自由貿易地域賃貸工場（第6期）

- 土木建築部 29

- 中城湾緑地トイ新築工事
- 中城湾港（津堅地区）物揚場（－3m）付属施設新築工事
- 県営古波蔵市街地住宅耐震改修工事

- 教育庁 33

- 小禄高校校舎増改築工事

<工事記録> 37

◇営繕業務と組織（平成16年度） 53

◇事業・事務手続きのフロー 54

編集を終えて 55



本計画施設は、老朽化した管理棟・屋内運動場及・水泳プールを取り壊し、新たに屋内運動場及び水泳プール棟を平成15年、管理棟を平成15・16年度の国庫補助事業として改築しました。

管理棟、屋内運動場及び水泳プール棟は、学習活動の場としての基本的な機能を備えるほか、エレベーターを管理棟に備えバリアフリー化を推進し、既設校舎から渡り廊下を利用し雨天時における生徒のスムーズな移動、安全性、省エネルギー、雨水利用等に配慮した施設計画がなされています。

□設計計画の基本方針

〔 屋内運動場及び水泳プール棟 〕

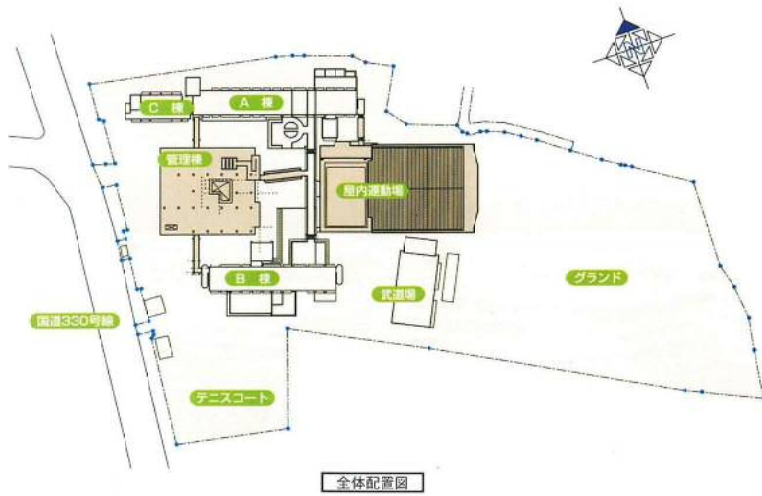
屋内運動場には、エントランスを1階と2階に配置し、各棟から渡り廊下で繋ぎ授業の際の移動を容易に出来るようにしました。バスケットボール、ハンドボール、等のコートが十分取れるようにアリーナの面積を広く計画し、1階には卓球室も備えています。

水泳プールでは、安全性、管理面及び敷地の有効利用、等を考慮し、屋内運動場の上部に配置し、多人数での授業が想定されるのでプールサイドを広くしました。

〔 管理棟 〕

既設校舎・普通教室A棟が北側、B棟が南側に配置されているため、管理棟を中央に配置し3箇所の渡り廊下で各棟及び屋内運動場へも繋げてあります。

又、屋内運動場と管理棟との間に多目的広場を設け、生徒の多様な活動や地域との交流の場としても、活用できるような計画となっています。



全体配置図

屋内運動場及び水泳プール



全景



2階、アリーナを結ぶスロープ



アリーナ



2階エントランス

管理棟



正面玄関



エントランスホール



正面



ギャラリー



東面及び多目的広場

普天間高校屋内運動場・水泳プール及び管理棟増改築工事

所在地 沖縄県宜野湾市普天間1丁目24番1号
敷地面積 30,629.00㎡

〔屋内運動場及び水泳プール棟〕
工期：平成15年9月～平成16年3月
構造：鉄骨鉄筋コンクリート造
階数：地上3階
建築面積：2,767.44㎡
延床面積：3,596.19㎡

〔管理棟〕
工期：平成16年3月～平成16年9月
構造：鉄筋コンクリート造
階数：地上4階
建築面積：1,681.26㎡
延床面積：4,837.84㎡

事業費総計：1,707.864（千円）

設備の概要

電気設備：〔屋内運動場・水泳プール〕 受電設備/変電室より低圧供給
照明設備/電動昇降式照明器具 照明用安定期/壁取付
〔管理棟〕 受電設備/変電室より低圧供給
照明設備/Hf型（省エネルギー対策）照明器具
防災設備/P型1級受信機・非常用放送一体型
空調設備：屋内運動場・教科準備室 空冷式パッケージ型空調和機
管理棟 空冷式マルチパッケージ型空調和機
衛生設備：給水方式/高架水槽方式（上水） 加圧給水方式（中水）
排水方式/建物内分流入下水管直放流



多目的トイレ



正門



〔屋内運動場内〕卓球室

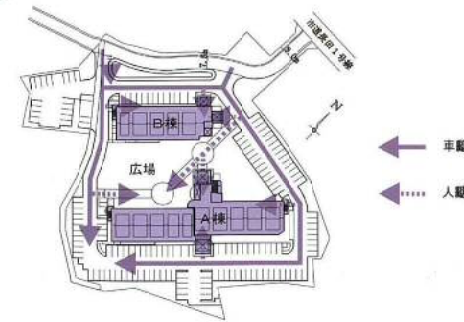


水泳プール



1) 建替事業概要

県営志真志団地住宅は、昭和49年から昭和50年にかけて建設された。建物の老朽化に伴い且つ住戸は狭隙で最低居住水準を満たしていない状態であった。こうした中で鑑みて沖縄県が平成6年に策定に策定した、「沖縄県公共賃貸住宅建替促進計画」及び、平成8年に策定された「沖縄県住宅マスタープラン」を踏まえて、平成12年度の基本計画、平成13年度の両年に亘り作成した実施計画により平成14年に高層化した住宅団地として建替工事に着手した。



配置図・全体計画パース

第1期工事（平成15年度～平成17年度）：100戸除去 114戸建設
第2期工事（平成16年度～平成17年度）：40戸除去 39戸建設

2) デザインコンセプト (外観)

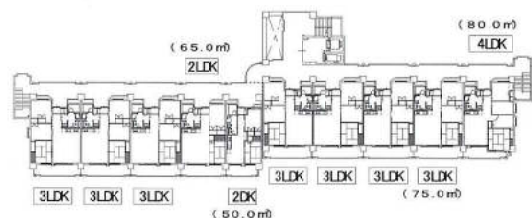
沖縄の気候風土を考慮して、強い日差しや風雨をやわらげるように軒（雨端）を深くすると共に且つ、住環境に配慮し、彫の深い影を演出して表現豊かにした。また、バルコニー手摺は、宜野湾市のシンボルである羽衣をイメージしたやわらかな曲線を用いて優しさを表現している。

3) 配置計画

日照、通風、プライバシーを確保した2棟の住棟で、敷地中央の多目的広場を狭む配置として、住棟周囲に車両動線及び駐車場を配置した。更に生活領域の明確化をすると同時に、それによる隣地との空間距離を保つことにより周辺地域への圧迫感の低減を図ることを考慮し、配置計画した。

4) 住戸計画

① 個室に独立性を高めるとともに、原則として床の段差のない構造として、玄関、便所等の適切な位置に手摺を設置して、身障者、長寿社会に配慮した計画である。



基準階住戸タイプ別配置図

- ② 住戸内の廊下等の通路及び出入口は、歩行補助器具及び介護用車椅子の使用に配慮した幅員を確保した。
- ③ 各室、洗面室等の収納率を高めるとともに、持込家具を設置できるようにタンス置場、(和室)や壁面(洋室)を設けている。
- ④ ポーチ・バルコニー部分は、入居者が自由に演出できる空間として提供している。



3LDKタイププラン



居間・食堂



台所



ベランダ



玄関



浴室



トイレ

県営志真志団地建替建設工事（第1期）

所在地：宜野湾市我如古
 工期：平成14年10月3日～平成16年4月30日
 構造：鉄骨鉄筋コンクリート造
 階数：地上12階

敷地面積：6,848㎡
 建築面積：1,277㎡
 延床面積：11,449㎡

住宅形式及び戸数（うち身障者用住戸）
 2DK/12戸 2LDK/12戸 3LDK/79(3戸) 4LDK/11戸 計114戸
 総工事費：



総務部

工事名称：平和の礎追加刻銘工事

所在地：糸満市
 工期：H16.6.4～H16.7.30
 総工事費：8,648千円



平和の礎建設工事は、終戦50周年記念事業の一環として、平成7年6月に竣工し、除幕式を行っている。その年以降、遺族方からの申請等により県内、県外及び外国の刻銘追加、修正、及び削除等を年度ごとに行っている。

文化環境部

工事名称：宮古不発弾保管庫新築工事

所在地：宮古島市
 工期：H17.1.18～H17.3.31
 構造階数：鉄筋コンクリート造・トタン屋根葺き
 延床面積：21.3㎡（保管庫） 10.05㎡（警備小屋）
 総工事費：29,825千円



保管庫



警備小屋

宮古島にて発見された、不発弾を一時的に管理するための保管庫の設置をおこなう。（信管除去などの完全化処理は発見現場にて行い、最終処分（爆破又は海洋投棄）が行われる2・3ヶ月の間保管される。